

# 詩のことば、声のちから

ジェフリー・アングルスの講演と、東北の“おんば”によるトーク

とき 平成 29 年 12 月 23 日 (土) 13 時 30 分～15 時 00 分

ところ 日本現代詩歌文学館 2 階 展示室

無料  
申込不要

第 1 部 13:30-14:15 講演と朗読 ジェフリー・アングルス

第 2 部 14:20-15:00 トークと朗読 金野孝子、ジェフリー・アングルス

\*司会 (第 1 部・2 部とも) 新井高子



ジェフリー・アングルス Jeffrey Angles

1971 年、アメリカ・オハイオ州コロンバス生まれ。詩人、ウェスタンミシガン大学教授 (日本文学)。日本の小説や詩の翻訳も広く手掛ける。当館の 2012 年度常設展「未来からの声が聴こえる—2011. 3. 11 と詩歌」に詩「地震後の帰国」原稿を出品。日本語による第一詩集『わたしの日付変更線』(2016. 11 思潮社) で読売文学賞を受賞。

金野孝子 きんの たかこ

1932 年、大船渡市生まれ、同市在住。詩人。ながらく保育士の仕事をし、70 歳くらいから詩を書き始める。第一詩集『山吹』(2015. 8 私家版、岩手開発産業株式会社印刷)。この詩集には、大船渡の土地言葉で書いた詩も数多く含まれる。『東北おんば訳 石川啄木のうた』の編集および“おんば訳”の朗読協力者。



司会・新井高子 あらい たかこ

1966 年、群馬県生まれ。詩人、埼玉大学准教授 (日本語教育)。当館こどもの詩のワークショップ講師。詩集『タマシイ・ダンス』(2007. 8 未知谷) で小熊秀雄賞。2014 年から 16 年にかけて、大船渡の仮設住宅集会所などを会場に、啄木の短歌を当地の土地言葉に“翻訳”するプロジェクトを行い、その成果を『東北おんば訳 石川啄木のうた』(2017. 9 未来社) にまとめた。

## 日本現代詩歌文学館